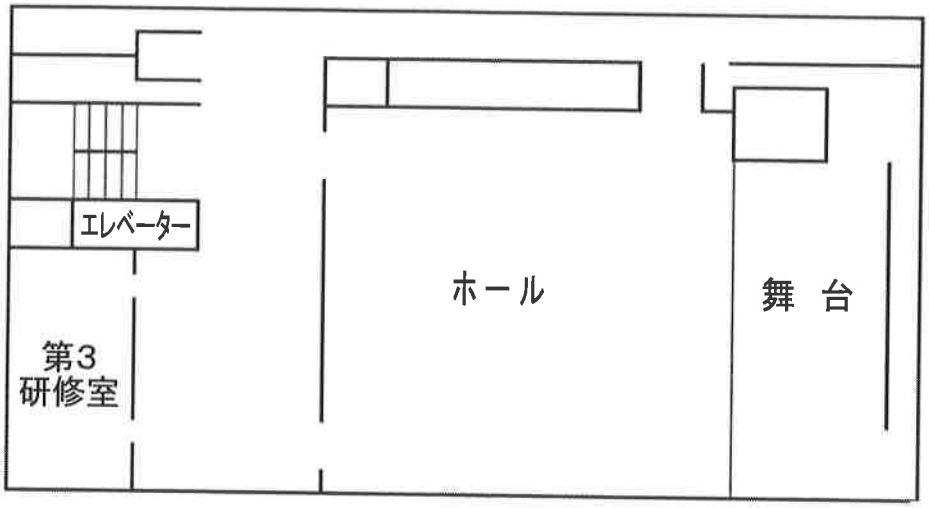
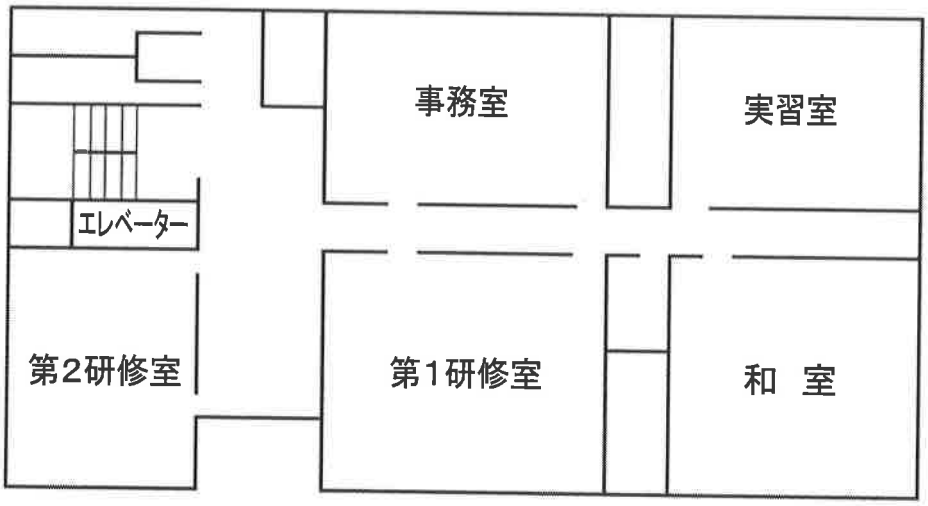
若狭公民館

利用施設のご案内





部屋名	収容人数	用　　途（備　　品）
ホール	200～250 人	講演会・発表会・音楽会・展示会等 （ピアノ・イス等）
第１研修室	60 人程度	研修室・会議（イス・テーブル）
第２研修室	30 人程度	研修室・会議（イス・テーブル・電子ピアノ）
第３研修室	20 人程度	研修室・会議（イス・テーブル）
実　習　室	20 人程度	調理実習・その他実習（料理用器具等）
和　　室	20～30 人 （12 畳×2）	お茶・生け花・着付け（茶道設備）

Ⅰ　若狭公民館の沿革

旧若狭市場跡に完成した当施設は、国道58号線以西でははじめての文化施設である。平成元年4月に公民館・図書館建設用地として、用度管財課より教育委員会へ移管され、建設について地域住民、利用団体からの意見・要望を聴取し、平成３年６月22日工事着工、平成４年３月19日竣工した。

建物は若狭小学校、若狭公園に隣接し、１階は図書館、２・３階が公民館で地域住民の学習の場として誕生した。特に生涯学習に関する情報等を提供する事業として、パーソナルコンピューターと電話回線を利用したパソコン通信を県内の行政機関ではじめて導入した。

平成16年度より公募による非常勤館長を配置し、平成22年度より公民館業務の一部をNPO法人に委託している。平成27年度より指定管理者制度を導入し、NPO地域法人サポートわかさが指定管理者となった。

平成３年11月１日	若狭公民館の発足に伴い、館長　高良繁が発令された。
平成４年６月２日	若狭公民館及び図書館の開館式が行われた。
６月３日	若狭公民館及び図書館が開館。
６月10日	利用団体サークル（32団体）への施設の提供が始まった。
８月４日	生涯学習情報提供事業「ＮＡＨＡあけもどろネット」開局式が行われた。
平成５年３月５日	第１回若狭公民館まつりが開催された。
平成６年11月７日	若狭公民館利用団体連絡協議会が結成された。
平成７年４月１日	館長　高良繁配置替えにより、館長　宮良毅が発令された。
７月14日	社会教育優良施設として県教育委員会より表彰を受ける。
12月１日	多年に亘り優れた公民館活動が認められ、沖縄県公民館連絡協議会より表彰を受ける。
平成８年４月１日	公民館主事１減に伴い社会教育指導員１増。
平成10年４月１日	館長　宮良毅配置替えにより、館長　阿波連寛が発令された。
平成11年10月27日	第52回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成13年４月１日	館長　阿波連寛配置替えにより、館長　高里洋介が発令された。
平成16年４月１日	館長　高里洋介配置替えにより、館長（非常勤）山田民子が発令された。 非常勤館長配置に伴い、主査１増、公民館主事１減。
平成17年４月１日	社会教育指導員１減。
平成19年４月１日	館長（非常勤）山田民子任期満了により、館長（非常勤）宮城潤が発令された。
平成22年１月12日	全国公民館連合会主催「第3回全国公民館ホームページコンクール」で最優秀賞を受ける。
平成22年４月１日	館長（非常勤）宮城潤任期満了により、館長　津嘉山剛が発令された。
平成22年４月１日	業務の一部をＮＰＯ法人地域サポートわかさ（理事長　早川忠光）に委託された。
平成23年１月21日	全国公民館連合会主催「第3回全国公民館報コンクール」で『広報わかさ』が優秀賞を受ける。
平成23年４月１日	館長　津嘉山剛配置替えにより、館長　平良恒次が発令された。
12月13日	全国公民館連合会主催「第4回全国公民館ホームページコンクール」で最優秀賞を受ける。
平成24年４月１日	館長　平良恒次配置替えにより、館長　下地敏雄が発令された。
平成26年１月６日	全国公民館連合会主催「第5回全国公民館ホームページコンクール」で優秀賞を受ける。
４月１日	館長　下地敏雄配置替えにより、館長　平良恒次が発令された。
平成27年４月１日	指定管理者制度の導入により、ＮＰＯ地域法人サポートわかさが指定管理者（理事長　早川忠光）となる。
平成28年１月８日	全国公民館連合会主催「第１回全国公民館インターネット活用コンクール」で最優秀

賞を受ける。

平成28年12月21日　全国公民館連合会主催「第６回全国公民館報コンクール」で『広報わかさ』が優良賞を受ける。

平成30年１月８日　全国公民館連合会主催「第２回全国公民館インターネット活用コンクール」で最優秀賞を受ける。

平成30年３月８日　第70回優良公民館（文部大臣表彰）において「最優秀館」に選ばれる。

平成30年12月13日　第７回全国公民館報コンクールにおいて「最優秀賞」を受ける。

Ⅱ　平成３０年度若狭公民館事業目次

１　学習風景（写真）・・・８０

２　成人一般対象事業

〔１〕市民講座

◇ ネパールの家庭料理教室・・・８１

◇ 戦前・戦後の壺屋からみる沖縄の姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８２

〔２〕成人講座

◇ 防災×やさしい日本語カルタ編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８３

◇ トライアル企画 防災キャンプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８４

〔３〕健康講座

◇ “楽しくウォーキング” 週に３日のウォーキングを習慣に！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８５

３　高齢者対象事業

〔１〕高齢者学級

◇「一生自分の足で歩く」ために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８６

４　青少年対象事業

〔１〕少年教室

◇ こども地域課題解決プロジェクト「地球ハートクラブ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８７

◇ 南の島の南極教室・・８８

◇ 第２４回ナイトウォーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８９

〔２〕青年講座

◇ 新生活をはじめるあなたのための料理教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９０

〔３〕親子ふれあい教室

◇ 那覇市のチョウ制定５周年記念イベント「オオゴマダラについて学ぼう！」・・・９１

〔４〕放課後子ども教室

◇ 若狭公民館地域子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９２

５　家庭教育事業

〔１〕家庭教育学級

◇ 子育て世代のための！お金の教養講座 プラス セルフハンドマッサージ♪・・・　９３

６　その他の事業

〔１〕地域連携事業

◇ 沖縄ネパール文化交流プログラム 「ネパールニューイヤーパーティ」・・・・・・９４

◇ リッカ！ヤールーキャラバン！・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９５

◇ うみそら上映会 in 若狭海浜公園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９６

◇ 第２２回若狭地域文化祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９７

◇ CGG年末美化清掃プラスONE・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９８

◇ 新春もちつき大会・・・９９

◇ 防災デイキャンプ@緑ヶ丘公園・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１００

〔２〕提案事業

◇ 第５回こども国際映画祭in沖縄（KIFFO） こども実行委員会・・・・・・・・・・１０１

◇ 移動式屋台型公民館を活用した
住民主体の「つどう・まなぶ・むすぶ」創造拠点創出事業・・・・・・・・・・・１０２

７　第２７回若狭公民館まつり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０３

1　学習風景

市民教室
「 ネパールの家庭料理教室 」

少年教室
「 南の島の南極教室 」

青年講座
「 うみそら上映会 」

親子ふれあい教室
「 オオゴマダラについて学ぼう！ 」

成人講座
「 トライアル企画 防災キャンプ 」

高齢者学級
「 一生自分の足で歩くために 」

2　成人一般対象事業

〔1〕　市民講座

ネパールの家庭料理教室

趣　旨：近年、地域に増えている県内在住のネパール人と交流することで、ネパールへの理解・関心を深め、互いの文化を尊重しあいながら交流していく機会をつくる。食を通して異文化交流を行うことで、より親しみやすく、幅広い年代の人が関わりやすい機会にする。
期　間：平成３０年7月２１日、8月１８日、9月１５日（土）　１５：００～１８：００　全3回
※７月は台風のため中止。
場　所：那覇市若狭公民館 実習室
対　象：那覇市在住・在勤の方
受講料：１５００円
定　員：１６人
申込人数：１６人
参加述べ人数：２３人
講　師：沖縄ネパール友好協会（ONFA）メンバー

学習プログラム

回	日時	内容	講師	人数
1	7月２１日	※台風のため中止	－	－
2	8月１８日	メニュー：豆カレー、ロティ（ナン）、アチャル（ゴーヤと赤玉ねぎ等）	ONFA メンバー	１６
3	9月１５日	メニュー：モモ（ネパール餃子）、アチャル（じゃがいもと大根等）、ティヤ（チャイ）	ONFA メンバー	7

（参加者の声）
- 直接ネパール料理に触れることができたので、よかった。／料理の説明がもっと聞きたかった。
- めったに教えてもらえない料理だったので、とてもよい講座でした。
- ネパールの方と初めてお会いして、ネパールに行きたくなりました。
- ネパール料理のスパイスの多様性や地元の家庭料理を教われたので良かった。
- 料理の詳しいレシピを用意してもらえたらよかった。思ったよりも辛かったので、お茶はもっと多めにあったお方がよかったです。ネパールについての話をもっとしてほしかったです。
- 香辛料の豊かさにまいりました。おいしかったです。
- また同じ先生たちで別メニューの教室をお願いしたいです。デザートとか。

（まとめ）
交流する機会の少ない在沖ネパール人と地域の人たちが、料理を通して時間を共有することで、互いの国や文化に興味を持ち、よい関係を築くきっかけになった。「またやりたい！」という声も聞かれ、関心がより高まったのを感じた。食材の組み合わせやスパイスの使い方を新しく学ぶことができ、料理の楽しみが増えたようだった。

戦前・戦後の壺屋からみる沖縄の姿

趣　旨：戦前は琉球王府に大量の瓦を供給する窯元として栄え、戦後は比較的戦災が少なかったことから復興の拠点となった壺屋地域。その歴史を学ぶことで、壺屋をとおして見えてくる沖縄の姿を学ぶ機会とする。また、当時の様子を知る方の話を直接聴くことで、より身近に感じることができるようになる。

期　間：平成３０年１０月３日（水）　１４：００～１６：００

場　所：那覇市若狭公民館 第１研修室

対　象：那覇市在住・在勤の方

受講料：１００円（資料代として）

定　員：３０人

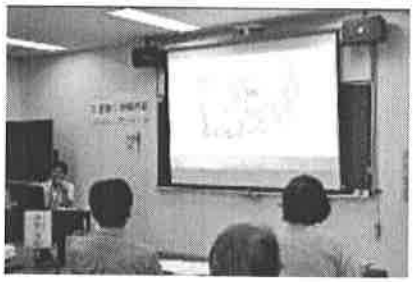
申込人数：２４人

参加述べ人数：２１人

講　師：伊集 守道（那覇市立壺屋焼物博物館主任学芸員）、島袋 文雄（元那覇市教育史編纂主任）

学習プログラム

回	日時	内容	講師	人数
1	１０月３日 第１部	近世琉球～近代の壺屋の歴史を学ぶ。壺屋地域は焼物に適した土地であったことから、17 世紀頃から焼物の地をして栄えた。琉球王府の盛衰と共に歩んできた歴史をみていく。	伊集 守道 （那覇市立壺屋焼物博物館主任学芸員）	２１
2	第２部	戦後、旧那覇市復興の拠点となった歴史を学ぶ。講師自身がみてきた様子や経験したことや当時の地図をみながら、変わりゆく地域の様子をみていく。	島袋 文雄 （元那覇市教育史編纂主任）	



（参加者の声）

・ 戦後の壺屋、那覇中心街の形成について文献でしか知らなかったので、実の体験者からのお話はとても貴重であった。／壺屋マチグァーを案内する時があり、より多くの情報を得るために参加。

・ 知らないことをたくさんご教示いただいたので、頭の中はパニクっています。早く整理しないと忘れそうです。／今後の街歩きの参考になった。／様子を写真でみれてよかった。／那覇のあゆみを知ることができました。

（まとめ）

戦前・戦後の壺屋や那覇の様子を知ることで、沖縄の歴史を学ぶとともに、まちの変遷を知り、より地域に愛着を持つ機会となった。今回の講座に参加できなかった方にも伝えたいということで、熱心に聞き入る方もいて、良い学びの場となった。

〔2〕　成人講座

防災×やさしい日本語カルタ編

趣　旨：災害時に使用される難しい日本語について、外国人が理解しやすいようなやさしい日本語に言い換えるには？ということを日本人・外国人が一緒になって考える。今回は、沖縄において特に多い台風災害に焦点を絞って、台風時にニュース等で頻出する単語を用いる。単語をやさしい日本語へ変換し、その単語をかるたにしてかるた遊びをするという一連の流れを各グループで取組み、やさしい日本語に対する理解・認識を深める。

期　間：平成３１年１月５日（土）　１３：００～１５：００

場　所：那覇市若狭公民館　ホール

対　象：県内在住日本人・外国人

受講料：無料

定　員：５０人

申込人数：（事前受付なし）

参加延べ人数：１９人

講　師：瀬底あけみ・大仲るみ子

◇学習プログラム◇

・非常時に使用する日本語をやさしい日本語に言い換え、外国人にも伝わり易いような工夫をする視点を育む

・グループに分かれて取り組むことで、参加者同士の交流を図る

【参加者の声】

・初めて参加しましたが、参加者との交流にもつながり幅広く防災を学べたと思います。感謝。

・なかなか学ぶ、考える機会が無いことなので、非常によい機会でした。

・学校が冬休みでたまたま予定が空いていたので参加できてよかったです。やさしい日本語についても楽しく学べたので満足しました。

・日本人でも難しい防災用語をやさしい日本語に言い直すことを考えることでよく理解できました。

【まとめ】

台風時に使われる用語、例えば「暴風」「警報」「休校」「避難」などの難しい日本語をやさしい日本語に言い換え、その単語をかるたにし（単語にまつわるイラストを描き、言い換えたやさしい日本語を読み札にする）、実際に作成したかるたを使って遊んでみるという一連の流れをワークショップ形式で実施した。今回は外国人の参加が少なかったものの、日本人参加者は外国人参加者に伝えるにはどういう日本語を使ったらいいか、という視点を一緒になって考える機会になり、参加者からはやさしい日本語について学ぶ貴重な機会だったという意見があがった。また、防災×やさしい日本語をかるたというツールを介して学ぶことで、グループ内のコミュニケーションは円滑になり、参加者も楽しみながら取り組んでいた。

トライアル企画 防災キャンプ

趣　旨：今回は防災の専門家や関心のある方、また今後防災に関する取り組みを行いたいと考えている方に参加していただき、宿泊型の防災キャンプをトライアルで実施。トライアルを通して防災キャンプのプログラムについて検討を行い、後日参加者による振り返り会で意見交換等を行いながら今後の防災関連講座につなげていく。

期　間：平成３１年１月５日（土）～１月６日（日）　１５：００～翌１０：００、
１月２１日（月）１８：００～２０：００（振り返り会）

場　所：那覇市若狭公民館　ホール（キャンプ）及び実習室（振り返り会）

対　象：防災に興味・関心のある方

受講料：無料

定　員：２０人

申込人数：１６人

参加延べ人数：３１人

◇学習プログラム◇

	実施日	活動内容	活動場所	参加人数
防災キャンプ	1/5～1/6	防災キャンプのトライアル版を実施し、実際の避難所を想定した活動を通して宿泊型防災プログラムについて検討を行う。	那覇市若狭公民館ホール	２０人
振り返り会	1/21	防災キャンプトライアル版を経ての振り返りを通し、今後の防災関連企画の検討と実施に向けた計画を立てる。	那覇市若狭公民館実習室	１１人

【参加者の声】

・防災訓練の重要性ならびに防災訓練のプログラム内容、開催目的など様々な視点があることを学んだ。また多くの人と話あうことで新たな発想が改めて生まれる。

・様々な立場の人がそれぞれのアイデアを共有していたので自分自身の考えを深めることができたり、新たな発見も多くあり、良い学びの機会になりました。

・アウトドアに抵抗のある人でも、公民館での活動なら参加しやすいと思った。

・楽しく実施できてよかった。参加者を広げること、まき込み方が大事。

【まとめ】

防災の専門家や防災に対する意識の高い参加者が集まったことから、実際の避難所での体験談やボランティア経験者の話が直接シェアされ、宿泊型防災プログラムの必要性を強く認識する機会となった。那覇市の避難所は緊急時にすべての市民を収容できるキャパがないため、万が一の時はキャンプ形式での避難生活も想定した行政・住民の備えが大事であるという指摘もあった。振り返り会では今後継続していくうえで必要な事柄が話し合われたことに加え、次回は春休み期間中にデイキャンプで防災意識を啓発できるような企画を実施することが決まった。今後の開催方法としてはシーズン毎や小規模で毎月開催など複数の案が挙がっているが、内容も含めこれから検討を重ねていく。

〔3〕 健康講座

“楽しくウォーキング” 週に３日のウォーキングを習慣に！

趣　旨：歩く習慣を身につけることにより、日頃の運動不足と生活習慣病の予防と改善に心掛け、健康でより楽しい日常を送る事を目指し、１１月１１日（日）に開催予定の「ひやみかち なはウォーク２０１８」への参加を目指す。

期　間：平成３０年9月２１日・１０月５日・１９日の１９：００~２１：００の全3回

場　所：那覇市若狭公民館ホール・若狭海浜公園及びその周辺
対　象：那覇市在住・在勤・在学の方
受講料：無料（ただし、保険料として２００円は自己負担）
定　員：３０人
申込人数：３５人
参加延べ人数：６２人
講　師：堀川　恭登

プログラム

	実施日	内　容	活動場所	参加人数
第1回	9月21日	ウォーキングの効果と、ストレッチングの心得。正しく歩くためのポイントと、姿勢について。	若狭公民館ホール 若狭海浜公園	２７人
第2回	10月 5日	ウォーキングの基本姿勢と効果的な歩き方。 ウォーキングの前後に行うと効果的なストレッチング	若狭海浜公園及びその周辺	２３人
第3回	10月 19日	ウォーキングのマナーに気を付けて７．８㎞のコースを歩いてみよう！！	大門まーいを巡る	１２人

（受講者の声）

- 先生のユーモアを交えた説明や話がおもしろく、ウォーキングのコースが海岸線ということもあり,爽やかで気持ち良かった。毎回楽しく参加することが出来ました。
- 一人だとつい億劫になってしまいやめてしまいました。今回、ウォーキング講座のお誘いを受け参加しました。おしゃべりをしながら楽しくウォーキングが出来て良かったです。
- 心地良い汗をかき、久しぶりに健康的な一日を過ごせた気がします。この機会にウォーキングを続けて行きたいと思います。

（まとめ）

今回は、若狭の地形を生かし海岸線を歩くコースを中心に、みんなでおしゃべりをしながらウォーキングの楽しさを感じる。ウォーキングを生活に取り入れ健康な日常を送るための体力づくりを目指すこと等を目標に講座を企画しました。爽やかな海風を受けながら楽しくウォーキングをする事が出来、みなさん満足された様子でした。引き続き１１月から週に１回集まって、１時間程ウォーキングをする事になりました。また、ひやみかちなはウォークへの参加呼びかけ、それぞれ参加申し込みをすることにしました。
（台風の影響により中止になった９月２８日の分を参加者の要望により１０月１９日に行いました。）

3　高齢者対象事業

〔1〕高齢者学級

「一生自分の足で歩く」ために

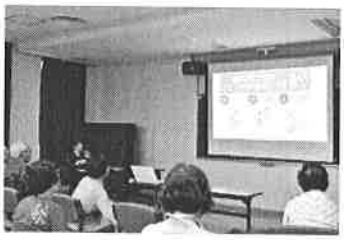
趣　旨：年齢と共に筋肉量が減り、ちょっとした段差につまづき転倒し骨折してしまった。という話を良く耳にします。そういった骨折が原因で車イス生活や寝たきり状態にならないために必要な運動や食生活について学び、一生自分の足で歩いて生活するための体力づくりを目指す。

期　間：平成３０年6月２７日（水）・２９日（金）・7月４日（水）１４：００~１６：００（全3回）

場　所：那覇市若狭公民館　第１研修室
対　象：那覇市在住・在勤・在学の方
受講料：無料（ただし、保険料として２００円は自己負担）
定　員：３０人
申込人数：２５人（全3回）
参加延べ人数：６７人
講　師：（大道中央病院研修医）柳澤先生・金岩先生　（栄養士）松島先生　（運動指導師）亀川先生
（那覇市包括支援センター若狭保健師）

学習プログラム

回	実施日	内　　容	活動場所	参加人数
1	6月 27 日	介護生活になる原因には、どの様な事が考えられるか。健康寿命を延ばすために必要なことについて。後半は、転ばない体をつくるために大切な下肢に重点を置いた運動の指導	若狭公民館 第１研修室	２３人
2	6月 29 日	骨を丈夫にし、筋肉を付けるために必要な栄養を多く含む食品や一日の摂取量の目安を食品サンプルを使って説明。後半は、チュウブを使っての筋肉トレーニング。	若狭公民館 第１研修室	２４人
3	7月　4日	日常生活に潜む転倒しやすい場所のチェック方法。不足しがちな栄養を上手に補う方法の提案。 まとめ	若狭公民館 第１研修室	２０人



（受講者の声）
・歩くために必要な筋肉・柔軟性・バランスに気を付けて生活し、一生自分の足で歩いて、楽しい毎日を過ごしたいと思います。
・毎日の積み重ねが大切。運動やバランスの取れた食事を意識して生活したいと思います。

（まとめ）
「一生自分の足で歩きたい」「健康で自立した生活を送りたい」という思いを、どなたもお持ちだと思います。皆さん熱心に受講されていました。今回の講座で学んだ事を毎日の生活に活かし、健康で充実した人生を楽しむ事が出来ればと思います。

4　青少年対象事業

〔1〕　少年教室

こども地域課題解決プロジェクト「地球ハートクラブ」

趣　旨：一昨年度のCGG年末美化清掃に参加した児童が、ゴミが散乱した海岸を目の当たりにし「海の生き物の命を守りたい」という思いから始まった『地球ハートクラブ』。今年度から公民館事業として取り組み各機関と連携を図りながら、これまでの海岸の清掃活動に加えて児童の話し合いの場「こども会議」を設け、地域の課題（ゴミ問題）を解決できる取り組みを行う事を目指す。

期　間：平成３０年４月～平成３１年３月

場　所：若狭海岸、若狭児童館、若狭公民館ホール・第１研修室、実習室、和室、漫湖水鳥湿地センター

対　象：那覇市在住、在学の小学生

参加延べ人数：１０３名

プログラム

回	日付	場所	活動内容	人数
1	4月6日（金）10時～12時	若狭海岸、若狭児童館	ビーチクリーン活動、地球ハートクラブの目的と地域の課題を共有	13
2	4月22日（日）10時～12時	若狭児童館	海岸の現状把握。「自分たちにできること」を意見交換。	8
3	5月26日（土）10時～12時	若狭海岸、若狭児童館	ビーチクリーン活動、「ポスターを作ろう」講座（講師：保志門るり江）	6
4	6月24日（日）10時～12時	若狭海岸、若狭公民館 第１研	ビーチクリーン活動、ロゴマーク作り、経過発表会	8
5	7月22日（日）10時～12時	若狭公民館 和室	ロゴマーク（仮）決定、ロゴマークを入れたポスター製作	6
6	7月27日（金）8時～11時	漫湖水鳥湿地センター	「第８回沖縄県こども環境会議」一般参加、ワークショップ参加	4
7	8月17日（金）10時～13時	若狭公民館ホール	特別企画「夏休みワクワク工作ランチ会」、ゴミを利用した工作、昼食会	8
8	8月26日（日）10時～11時	若狭海岸	ビーチクリーン活動	2
9	10月21日（日）10時～12時	若狭海岸、若狭公民館 実習室	ビーチクリーン、特別講座「生ごみをギュッと絞って減らす作戦！」	8
10	10月27日（土）11時～16時	若狭海浜公園	若狭地域文化祭にてブースを設置、活動紹介	2
11	11月25日（日）10時～11時	若狭海岸	ビーチクリーン活動	6
12	12月16日（日）10時～11時	若狭海岸	CGG年末美化清掃ぷらすONEに、地球ハートクラブとして参加	6
13	1月27日（日）10時～12時	若狭海岸、若狭公民館 和室	ビーチクリーン活動、公民館まつりにむけて掲示物作成	6
14	2月2日（土）10時～11時半	若狭公民館 和室	（前回の続き）公民館まつり展示物作成・完成	8
15	2月24日（日）10時～12時	若狭公民館 実習室	ビーチクリーンは雨天のため中止、海ゴミについて考える映像鑑賞会	5
16	3月31日（日）10時～12時	若狭海岸、若狭公民館 第１研	ビーチクリーン活動、振り返り会	7

（参加者の声）

・海にたくさんゴミが落ちていたど、キレイになっていった。

・ペットボトルがたくさんあった。ハートクラブの活動がもっと広がればいいと思った。

（まとめ）

「海の生物の命を守りたい」という児童の発案で結成した「地球ハートクラブ」は今年で結成３年を迎え、今年度から公民館事業として取り組んだ。若狭海浜公園の海岸を月に１度定期的に清掃し、清掃活動後のこども会議では海ゴミついての地域課題を話し合い、掲示物やロゴマークの作成をすることができた。

南の島の南極教室

趣　旨：南極の環境や南極昭和基地、越冬隊員の生活などについて知り、OB隊員や現役隊員と交流することで南極を身近に感じるようになる。また、地球規模の視野を持って思考し行動するきっかけとなることを目的とする。

期　間：平成３０年１０月１３日（土）　１３：３０～１６：００

場　所：那覇市若狭公民館　ホール

対　象：那覇市在住在学の方、関心のある方

受講料：無料（ただし、大人は保険料として５０円を自己負担）

定　員：１００人

申込人数：７１人

参加人数延べ：７６人

講　師：西分竜二（第３４次越冬隊員）、原稔（第４２・４７次越冬隊員）、他越冬隊OB

学習プログラム

回	日　時	内　容	講　師	人数
1	１０月１３日	南極観測や現地での生活について、経験者から講演。 南極昭和基地と中継をつなぎ、現地隊員との交流。 南極の氷と数万年前の空気に触れる。 パネルや観測船の模型、防寒服、南極の石などの展示。	西分 竜二 氏 原 稔　氏	７６人

（参加者の声）

子ども：

・ 今日、この教室で勉強して南極のことを学べたと思いました/1日夜のことがわかった（極夜のこと？）。
・ 中継が緊張した/南極の氷がすごかった/南極のことが学べ、楽しかったです。
・ 基地じゃなくテントだと思ったからやっぱりテントじゃ凍え死ぬことがわかった。
・ コウテイペンギンやアデリーペンギンが多くみられることがわかった。

大人：

・ 普段みられないものが色々とみれて勉強になった/わかりやすく解説していたので理解が深まったと思う。
・ とても楽しめました/現在南極にいる隊員と話せたから/生の声をきけると思って
・ 子どもに興味をもってもらうため参加しました/子どもたちに興味の種まきのため

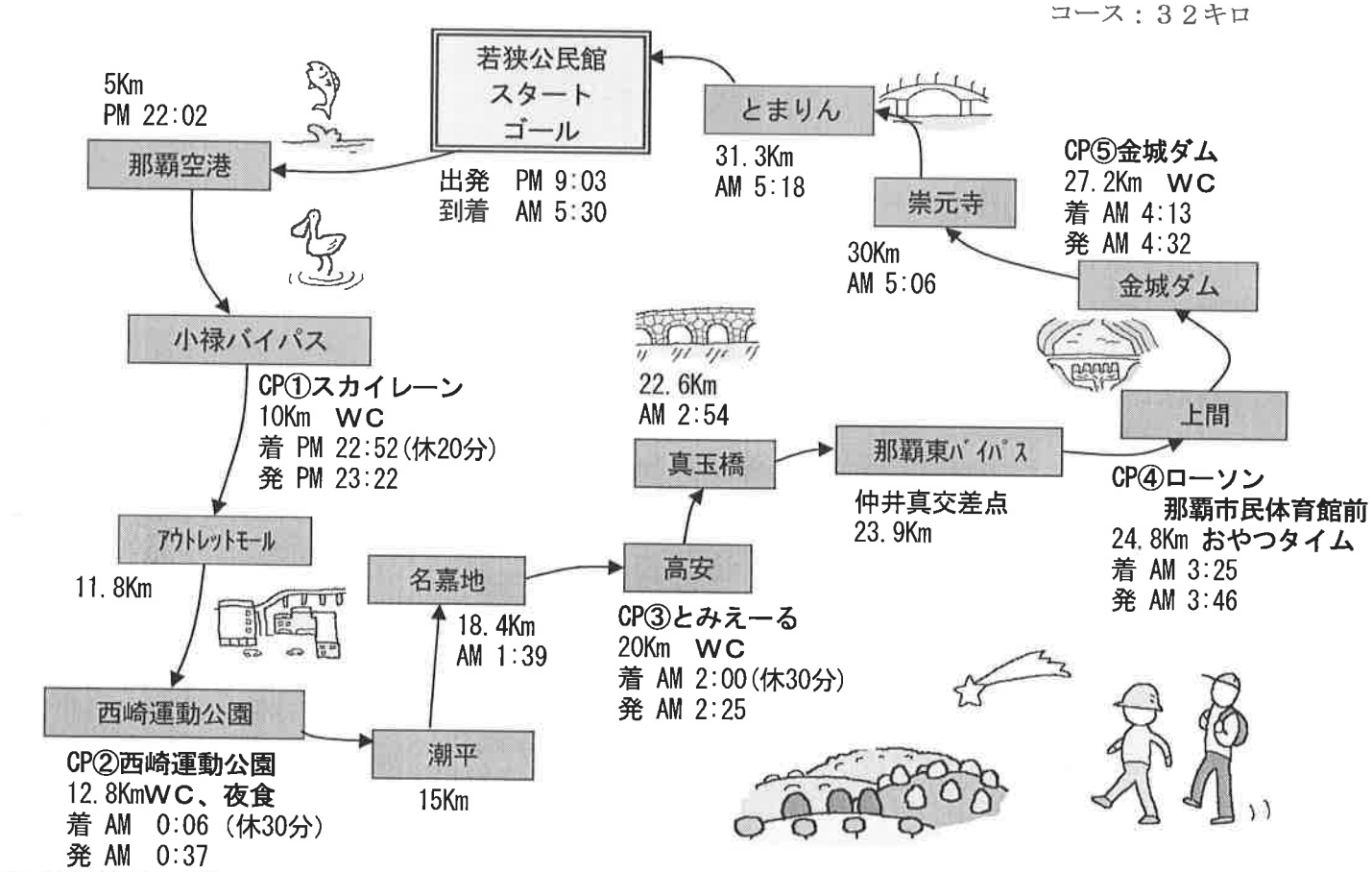
（まとめ）

越冬隊経験者からの話、南極の氷や石、防寒着などに実際に触れることができ、興味・関心を高めることができた。南極昭和基地とのネット中継を行い現役隊員との交流もできたので、より南極を身近に感じることができ、子どもも大人も楽しめる講座となった。

第２４回ナイトウォーク

趣　旨：中学生が、非日常的な体験の中でお互いに励まし合い、助け合いながらゴールを目指すことにより連帯感・達成感・充実感を共有し、友情を深め困難に立ち向かう気力を培うことを目的とする。
期　間：平成３１年3月１６日（土）１９：３０集合　～　１７日（日）７：３０解散
対　象：那覇中学校及び上山中学校の生徒
参加費：１,０００円（夜食・朝食・おやつ代、保険料その他）
申込人数：４５人
参加延べ人数：生徒４３人（スタッフ４２人〈職員を含む〉）

コース：３２キロ



左：公民館出発時の様子　／中：横断歩道を渡る様子　／右：金城ダムでの休憩中の様子

（まとめ）

今年で２４年目となるナイトウォークは、医療法人陽心会をはじめ、地域の方々、沖縄県スポーツボランティア協会、那覇市職員などの協力を得て、無事に終了することができた。雨が降ることもなく、また途中でリタイアする者もなく全員が完歩することができた。ただ、例年より参加者が少なかった（中学３年生の申し込みが無かった）ので、日程や広報を工夫しより多くの生徒が参加できるようにしたい。

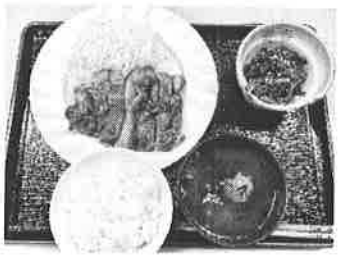
〔2〕　青年講座

新生活をはじめるあなたのための料理教室

趣　旨：これから新生活をはじめる方や料理初心者を主な対象とし、チキンの照り焼き、葉野菜のごまあえ、味噌玉づくりを通して料理の基礎を学び、今後新生活を送る上で充実した食生活を営めるよう楽しく料理に親しむ。
期　間：平成３１年３月９日（土）１４：００～１７：００
場　所：那覇市若狭公民館 実習室
対　象：那覇市在住・在勤・在学で、１０代～３０代までの方
受講料：無料（ただし、保険料・材料費として７００円は自己負担）
定　員：１６人
申込人数：９人
参加述べ人数：１３人
講　師：東澄子・金城由紀子

学習プログラム

回	日時	内容	講師
1	３月９日	万能だれ作り、チキンの照り焼き、葉野菜のごまあえ、味噌玉	東澄子・金城由紀子



（参加者の声）
・実際に料理をすることが中心で楽しかった。
・第２回の開催、ぜひお願いします！
・いつもと違うことをしてみたくて、料理教室に参加してみました。参加してよかった！！
・とても貴重な機会をいただきありがとうございました。料理のことはもちろん、みなさまと楽しくすごせました。時間がとても充実していました。またよろしくお願いします。

（まとめ）
今回は青年講座ということで、対象者の年代を１０代～３０代に限定して行った。参加者は単独での参加が多く、グループ決めもランダムで行ったが、初対面同士でも料理作りを通して楽しそうに交流していたのが印象的だった。参加者が少なかった分講師の目も届き易く、調理の過程についての説明や参加者からの質問もおしゃべりのような気楽な雰囲気のなか行えたことがよかった。参加者にとっても、料理について学べたことに加え、楽しく参加できたという意見が多かった。運営側の反省点としては、広報期間が十分に取れなかったため（募集期間２週間弱）、その点は次回以降しっかり改善したい。

〔3〕　親子ふれあい教室

那覇市のチョウ制定5周年記念イベント「オオゴマダラについて学ぼう！」

趣　旨：親子で参加し学習する機会創出のため、夏休み期間中に講座を実施。講座内容は、自由研究としても扱えるオオゴマダラを題材とする。また、今年はオオゴマダラが那覇市のチョウに制定されてから５年の節目であることから、その関連イベントとして那覇市総務課とのタイアップ講座とする。講座では、那覇市のチョウであるオオゴマダラについて、市民により認知すること、そしてその生態や育て方を学ぶことで市蝶に親しんでもらい、親子で楽しく学べるよう実施する。

期　間：平成３０年８月１２日（日）　１３：００～１５：００

場　所：那覇市若狭公民館　ホール

対　象：那覇市内在住の小学１年生～中学３年生

受講料：無料（但し、保険料として当日一人５０円を徴収）

定　員：５０人

申込人数：７０人

参加延べ人数：６５人

講　師：大城安弘（農学博士／首里城下にチョウを翔ばそう会会長／那覇市ちょうちょガーデン担当管理者）

◇学習プログラム◇

・オオゴマダラやチョウの生態について学ぶ

・オオゴマダラの食草である「ホウライカガミ」の植え方、育て方を学ぶ

【参加者（子ども）の声】

・オオゴマダラは大胡麻ダラがオオゴマダラになったと知った。昆虫は一匹じゃなくて一頭と数えると知った。

・名前のこと、数え方、食草のこと、ほぼすべて初めて知りました。

・１～４齢幼虫とか知らない事がわかって良かったです。

【参加者（大人）の声】

・先生が楽しそうに熱心に話されるのが印象的でした。自然がすきなのがよく伝わりました。もっともっとチョウが飛び交う島になるとステキですね。

・完全変態。さなぎのなかで１回どろどろにとけてからチョウになるとゆうのに驚きました！

【まとめ】

申込受付開始前から複数問合せがあり、当初の定員５０名を早々に超えてしまうなど、講座開催前から市民の関心の高さが伺えた。講座ではオオゴマダラの生態や育て方の説明、食草のホウライカガミの植え方の詳細なレクが行われた。参加者にはホウライカガミの苗をプレゼントしたため、講座での学びを家庭の中で活かす機会につなげられた点は良かった。当日会場では、「首里城下にチョウを翔ばそう会」の会員によるオオゴマダラ（卵・幼虫・さなぎ・成虫）の実物やパネルの展示もあり、参加者の興味・関心をより高められたように思う。

〔4〕　放課後子ども教室

若狭公民館放課後子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」

趣　旨：子どもたちの安全な放課後の居場所として公民館を利用することから、児童が地域社会の構成員として意識し、主体的に地域づくりに参画できる人材になることを目的とする。また、エイサーをとおして郷土の文化・芸能に触れる。

日　時：平成３０年４月～平成３１年３月（練習日）毎週火・木曜日１７：００～１８：００

場　所：若狭公民館　ホール及び第１研修室
対　象：若狭小学校、天妃小学校、那覇中学校の児童生徒
登録児童：１８人
参加延べ人数：１，３９４人
指導者：岸本麗子（若狭１丁目自治会会長/若狭小学校区まちづくり協議会子ども育成部長）

【練習日・参加イベントの内容】

月	内　　容	参加人数	時間数
４月	波の上ビーチ「海びらき」オープンセレモニー・ネパールニューイヤーパーティー・若狭二丁目自治会総会　　練習日（８回）	１３２名	１１時間
５月	なんみん祭　　練習日（９回）	１４６名	１２時間
６月	波の上ビーチトライアスロン　練習日（８回）	１１１名	１１時間
７月	遊 YOU 塾（北海道）交流会・若狭小 PTA 主催「わかさっ子祭り」三重城祭り　　練習日（８回）	１８６名	１３時間
８月	一万人エイサー踊り隊・第二民児協ふれあい昼食会・練習日（７回）	１２６名	１２時間
９月	若狭二丁目自治会敬老会・練習日（８回）	１０９名	９時間
１０月	練習日（９回）	１１５名	９時間
１１月	若狭地域文化祭・辻老人憩の家福祉まつり・練習日（９回）	１３０名	１１時間
１２月	子どもフェスタ in なは・クリスマス会・練習日（４回）	１２６名	７時間
１月	新春もちつき大会・練習日（９回）	９７名	１０間
２月	若狭一丁目自治会生年祝い・若狭公民館まつり・練習日（７回）	６９名	９時間
３月	練習日（７回）	４７名	７時間

なんみん祭

エイサー交流会

（まとめ）
　子ども会のエイサー団体から繋がってきた「若狭ちむどんどん太鼓」今では、子どもエイサーとして地域に浸透した存在になりつつある。
少人数ではあるが、ステージでは元気いっぱいエイサーを踊っている。
今後は、メンバーを増やすためにもエイサーの魅力を発信できる工夫が必要。

5　家庭教育事業

〔1〕　家庭教育学級

子育て世代のための！お金の教養講座 プラス セルフハンドマッサージ♪

趣　旨：家計の中で養育費や教育費が占める割合は大きい。賢い家計のやりくり方法を学び、計画的に教育費を準備することで、急な出費に慌てることなく、子どもの夢も応援できるようにする。また、忙しい日常の中でリラックスタイムを作れるよう、セルフハンドマッサージの方法を学ぶ。

期　間：平成３０年７月１４日（土）　１４：００～１６：３０

場　所：那覇市若狭公民館　第１研修室

対　象：那覇市在住・在勤の方

受講料：無料

定　員：２０人

申込人数：１６人

参加延べ人数：１４人

講　師：慶田城 裕（ファイナンシャルプランナー）、登川 朝子（佐伯チズ認定ビューティシャン）

学習プログラム

回	日　時	内　容	講　師	人数
1	７月１４日	第１部：ファイナンシャルプランナーによるお金の講座。教育費を中心に人生の４大資金（教育・住宅・保険・老後）などについて学ぶ。 第２部：忙しい日々の中にリラックスタイムを作るために手軽にできるセルフハンドマッサージの方法を学ぶ。	慶田城 裕 登川 朝子	１４人

（参加者の声）

- お金の健康診断はライフアドバイザーに気軽に相談していいということがわかった。
- 奨学金の情報は参考になりました。早めに家族で話し合っていき、ライフプランをたてて実行できるようにしたいです。
- まずはどのくらい使っているのか家計簿をつけることが必要なこととイデコ&ニーサが良いと知りました。
- 知っているようで知らないことを整理して考える機会になってよかった。沖縄の例も大変身近で、話し方もペースもすばらしかったです。ありがとうございました。

（まとめ）

第１部では、教育資金を中心に、人生の４大資金（教育・住宅・保険・老後）について学ぶことができた。ライフプランを立てるためには具体的に家族の将来像を描くことが大切。また、奨学金や免除制度などは申請式が多いので、能動的に情報を集めることが重要だということを学ぶことができた。

第２部では、セルフハンドマッサージを体験することで、リラックスタイムをつくる良さを体感した。

6　その他の事業

〔1〕地域連携事業

沖縄・ネパール文化交流プログラム　ネパールニューイヤーパーティー

趣　旨：近年増えている、若狭地域で暮らす在沖ネパール人と地域住民の交流の機会を作り、お互いの文化や生活習慣についての相互理解を深める。今年のネパールのお正月にあたる4月14日に合わせて、歌や踊り、民族衣装の試着、またネパール料理の紹介・試食を行う「ネパール ニューイヤーパーティー」を開催する。

期　間：平成３０年　4月１４日（土）　１２：００~１５：００

場　所：若狭公民館　３階ホール

対　象：那覇市在住・在勤の方

参加料：無料

参加延べ人数：約３００人　　プログラム

時間	内容
12：00~	イベント開始（フード販売）（民族衣装試着コーナー）
13：00~	舞台交流プログラム： 沖縄：三線（鶴見部屋）、子どもエイサー（若狭ちむどんどん太鼓） ネパール：留学生による歌、踊り
14：00~	ネパール文化についてのプレゼンテーション、質問コーナー

（参加者の声）

・歌や踊りにすぐにのってくる国民性は沖縄の人と共通するものがあった

・身近にいる外国の方を知るとてもいい機会でした

・外国の方々との相互理解は今後とも必要と感じました

（まとめ）

昨年８月に沖縄ネパール友好協会（ONFA）を通じて、ネパール人留学生と地域住民の交流の機会を作り、今年度も更なる地域交流の場を設けた。今年の４月１４日がネパール（ビクラム歴）のお正月であったので地域住民、在沖ネパール人が一緒にお祝いできた。多くのネパール人ボランティアスタッフのおかげでネパール料理や民族衣装試着は問題なく提供できた。また、ホールで行われたプログラム以外でも、当日販売したネパール料理の仕込みや会場設営等でボランティアスタッフ同士での国際交流を図ることができた。来場者同士、ボランティアスタッフ同士で築いた友好関係を持続させ、更なる文化交流・相互理解が深まるような事業・講座が期待できる。

リッカ！ヤールーキャラバン！

趣　旨：防災・減災に役立つ知識はもちろん、いざという時の応急手当方法などを楽しく学ぶほか、災害に対する意識啓発も目的とした防災イベントを実施する。実施にあたっては若狭地域に限らない多くのボランティアスタッフを必要とすることから、世代間交流や地域内外の人的交流も期待できる。
期　間：平成３０年９月８日（日）　１０：３０～１３：００
場　所：那覇市津波避難ビル３Ｆ、４Ｆ
対　象：親子、子ども他どなたでも参加可能
受講料：無料
参加延べ人数：３７９人

◇学習プログラム◇

防災・減災の知識を、１５の防災プログラムを通してゲーム感覚で楽しく学ぶ。また防災プログラムと併せておもちゃの交換会を実施。プログラムに参加するとヤールーポイントをゲットでき、ポイントはおもちゃと交換可能なほか、当日不要になったおもちゃを持ってきてポイントに交換することも可能。そして今回は新たなプログラムとして「映像」と「炊き出し」が加わった。映像では東日本大震災直後の復興支援について映像で紹介する他、防災・減災に役立つ情報誌『震災リゲイン』を展示配布。炊き出しでは、那覇市防災危機管理課から非常食を提供いただき、那覇市津波非難ビル屋上にて炊き出しを実施。

【参加者（子ども）の声】
・防災のことについて学べた。
【参加者（大人）の声】
・自助をするため、日頃からできるそなえを工夫して使用したい！
・たくさんの大人が関わり、どのコーナーも安定していた。ぜひ学童でも小規模にはなるが参考にして遊びの中に学べるスパイスの行事をしたい。
・それぞれの学校区でやってほしい。

【まとめ】

今回は新たに２つのプログラムが加わり１５の防災プログラムを実施。参加者は圧倒的に子どもや親子連れが多く、参加者・ボランティア数も回を重ねるごとに増えている。今回の成果としては、参加者が増加した分より多くの方へ防災・減災の知識に触れる機会を提供できたことである。今回新たに加わった「映像」は、特に大人の参加者を意識したプログラムだったが、大人はもちろん親子でじっくり映像に見入る姿があった。「炊き出し」は、那覇市津波避難ビル屋上での実際の炊き出し方法の検証にもなり、参加者が一緒になって非常食を実際に食べる良い機会となった。

一方で反省点も多くあった。事前の反省点としては事業始動が出遅れたため広報時間が短かったこと、そしてボランティアスタッフへのフォローや取組みに対する意識付けが十分に行えなかったことがある。当日の反省点は、プログラム開始直後おもちゃの方へ参加者が集中してしまったことや、プログラムへの参加方法がわからない子も見られた。今回の反省点については改善を図り、より良い防災イベントとして次回開催ができるよう努力したい。

うみそら上映会in若狭海浜公園

趣　旨：有志が集まり上映方法や内容を企画立案し若狭海浜公園で懐かしの映画や地域の映像を鑑賞する。上映会を通して近隣住民だけでなく世代を超えた幅広い方々に参加してもらい地域交流・情報交換の場とする。

期　間：【実行委員会】平成３０年６月８日（金）、６月１８日（月）、６月２９日（金）、８月２日（木）
９月５日（水）、１０月１日（月）各回共に１９：００～
【上映会】　平成３０年７月１３日（金）、８月１０日（金）、９月１４日（金）、１０月１２日（金）
（第１回～第３回）１９：３０～２０：３０、（第４回）１９：００～２０：００

場　所：【実行委員会】若狭公民館第２研修室・和室　【上映会】若狭海浜公園、若狭公民館第１研修室

対　象：地域の方々

参加延べ人数：【実行委員会】３４名　　【上映会】４０４名

実行委員会		
日　時	内　容	参加者数
6月8日 19：00～20：30	昨年の上映会を振り返り、今後の計画。	3名
6月18日 19：00～21：00	盛り上がるためにアイディア出しあい実現に向けて役割を割り振りする。	7名
6月29日 19:00～21：30	第1回、第2回の上映作品決め。第1回にむけての話し合い。	6名
8月2日 19：00～21：00	第1回の振り返り、第2回にむけての役割・改善点確認。	6名
9月5日 19:00～21:00	第4回上映作品を決めるための試写会。第3回にむけての話し合い。	4名
10月1日 19:00～21:00	第4回にむけての話し合い。SNSを利用しての広報活動開始。	8名

上映会			
日　時	内　容（短編映画/１６㎜フィルムアニメ/懐かしの８㎜フィルム映像）	スタッフ	参加者数
7月28日	『僕と明日香の島歩き』『ジャングル大帝～親友～』『天妃小学校第１回体育祭』	10名	150名（計160名）
8月25日	『born、bone、墓音』『ミッキーマウスのお化け退治』『懐かしの行楽地巡り』	15名	100名（計115名）
9月29日	『ニービチの条件』『ねずみのチャップ』『大綱挽と那覇市』	17名	80名（計97名）
10月20日	『愛と藍』『いじわる狐ランボー』『70年代の子どもたち』	12名	22名（計32名）

（参加者の声）

・普段観ることのない映画内容で楽しい。開放感があって気持ちよく鑑賞できました。

・地域でこういう行事がもっとたくさんあればいいのにと思いました。

（まとめ）

実行委員会では昨年度の改善点や、やりたかったことを話し合い、新しい取り組みをいくつか実現させ、上映会をさらに盛り上げることができた。回を重ねるごとに出店ブースなどでの協力団体が増え、公民館だけではなく様々な団体との繋がりを持った事業として実施することができた。

今後は若狭だけではなく他地域にも「うみそら上映会」を広げていきたい。

第２２回 若狭地域文化祭

趣　　旨：地域特性を活かし地域住民が関係機関・団体と連携　・協力して文化的行事を企画実施する。また高齢者から幼児・児童・生徒までの三世代間の交流と、地域の連帯意識の強化を柱に、祭りに訪れる県内外の観光客との交流を図る。かつ、地域文化を再認識するとともに、新たな文化を掘り起こし発信することにより、青少年の健全育成と豊かで活気に満ちた潤いのある地域を創ることを目的とする。

日　　時：平成３０年１０月２７日（土）　１１：００~１８：００

場　　所：若狭公民館

参加延べ人数：１，５００人

主　　催：ＮＰＯ法人地域サポートわかさ

プログラム

舞台発表	働くおじさんファッションショー、ネパールダンス、こどもエイサー　他
こどもイベント広場	ヤギとのふれあいコーナー、ロープワーク、読み聞かせ　他
各種ブース	無料健康相談、パネル展示、保育園児によるお呈茶、　他
出　店	沖縄そば、ヤギ汁、ネパールカレー、焼き鳥　他

（まとめ）

第２２回を数える若狭地域文化祭は、若狭近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所、ならびに各社会教育関係団体からなる実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営している。

舞台発表は、幼児、児童・生徒、地域婦人部、サークル団体等の発表の場となっているほか、獅子舞、エイサー、琉舞道場の演舞もあり、地域の芸能文化に触れる機会となっている。また今回は働くおじさんのファッションショーやネパールダンスの披露もあった。こどもイベント広場では、ヤギとのふれあいやゲーム、読み聞かせなどがあり人気をよんだ。出店コーナーでは、ネパールカレーやヤギ汁などの新メニューが加わった。小学校の記念事業期成会や就労支援センターの出店もあり、関わる団体の広がりもあった。

CGG 年末美化清掃プラス ONE

趣　旨：地域の各機関が一丸となって清掃をし、親睦を通して青少年健全育成を図る。自治会、婦人会、小中高生、PTA 関係者、NPO、公民館利用団体が参加し、若狭地域にある公園、道路、地域の清掃を実施する。プラス ONE 活動として若狭公民館利用団体連絡協議会による振舞いなべ（豚汁）を食べることで、親睦を深めることを趣旨とする。

期　間：平成３０年１２月１６日（日）９：３０～１２：００

会　場：旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園、地域清掃　（若狭中通り）

対　象：若狭小学校地区の保育園・幼稚園・小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA 関係者など

参加者：１１８人

プログラム

	時　間	内容		人数
1	9:30～11:00	地域清掃	開会式、地域の清掃（若狭海浜公園・若狭公園・旭ヶ丘公園ほか）	１１８
2	11:00～12:00	シンメーナービー交流会	シンメーナービーで豚汁、おにぎりを食べながら交流会（若狭公民館駐車場）	１００

＜主な参加団体＞

NPO 法人ナハ・シー・パラダイス協議会／若狭１丁目自治会／若狭２丁目自治会／若狭３丁目自治会／若狭めおと自治会／前島３丁目自治会／若狭市営住宅自治会／若狭小学校区まちづくり協議会／若狭公民館利用団体連絡協議会／那覇中学校／若狭小学校／若狭こども園（順不同）

（まとめ）

地域が主体となって CGG の呼びかけを行い、自治会、学校、その他団体が参加し、旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園で、普段目が届かない所にある燃えるゴミ、燃えないゴミ、草木類、カン、ビン、ペットボトル等の清掃を行った。清掃終了後のプラス ONE 活動として、若狭公民館利用団体連絡協議会の協力でシンメーナービによる豚汁とおにぎりを振舞い、参加者同士の交流を深めることができた。今回は他の地域の清掃活動と重なり、参加者は例年より少なかったが、協力してゴミの収集・分別ができた。

新春　もちつき大会

趣　旨：地域の皆さまの健康と子ども達の健やかな成長を願って餅をついて新年を祝う。また、地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

期　間：平成３１年１月５日（土）１０時~１２時

場　所：那覇市若狭公民館玄関前（雨天のため、若狭公民館ホールに変更）
対　象：地域住民
参加費：無料
参加延べ人数：２５０人

【　プログラム　】

司会若狭ちむどんどん太鼓（上原優菜、浦崎苺琉）

■開会の挨拶（若狭公民館館長　宮城潤）

■主催者挨拶（NPO 法人　地域サポートわかさ 理事長 早川忠光）

■激励の言葉（若狭小学校校長　手登根宏）

■新成人の挨拶（那覇中学校区成人式実行委員会）

■オープニング　　旗頭（若狭・松山旗頭実行委員会）
お正月の歌「一月一日」
合奏と獅子舞（あゆみ幼児学園）
子どもエイサー（若狭ちむどんどん太鼓）
獅子舞（波上宮獅子舞保存会）

■つき始め式　　つき始め（各自治会会長および関係者）

■ 餅つき体験と振る舞い餅

（まとめ）

今年は雨天のため若狭公民館ホールでの開催となりました。会場の急な変更で準備に戸惑いましたが、自治会や成人式実行委員会、旗頭実行委員会の皆さんの協力のもと、多世代の住民が集い賑やかに行うことができました。また、オープニング式には旗頭、園児による合奏、獅子舞、エイサーなどの催し物もあり華やかな新春の宴となりました。

防災デイキャンプ @緑ヶ丘公園

趣　旨：１月に成人講座として実施したトライアル企画防災キャンプの次のステップとして、防災デイキャンプを実施。屋外（公園）で実施することで不特定多数の参加者をねらい、災害時には一時避難所にもなり得る公園の機能や、そこで実際に長時間滞在することで見えてくる課題を探る。
期　間：平成３１年３月２４日（日）　１０：００～１８：００
場　所：那覇市緑ヶ丘公園
対　象：どなたでも
受講料：無料
参加延べ人数：１５０人

◇学習プログラム◇

設置ブース：シェアキッチン（缶詰等の持ち寄り食材を調理）／ペット防災（ペットの防災に関するグッズ展示や掲示物による意識啓発／防災相談所（防災に関する相談受付け・参加者へのヒアリングを実施）／テント組み立てコーナー（テントを張るワークショップの実施）／ダンボールハウス（ダンボールで寝床を作る等、災害時のダンボールの活用についてのワークショップ）／チームまちなか活動展示（防災士とともに公園散歩を実施。他緑ヶ丘公園の活用に関するプロジェクトを実施している立場から、これまでの公園での活動についての展示）／受付（防災もしもカードの配布・記入の促し）
その他：モバイルハウス展示／簡易トイレ展示

【参加者の声】
・防災もしもカードは必要。家族にも持たせたい。
・私の地域でもこういう取り組みをしたい！
・地域の防災訓練とかはいつも同じ顔ぶれの参加で世代の偏りもあるが、今回は多世代が集まってて驚いた。
・ペットの防災という視点はなかったが、今回のブースでペット防災に関することを知れてよかった。

【まとめ】
今回は防災デイキャンプとして日帰り形式で実施。場所が公園のため、どなたでも参加可能・出入自由で、ゆったりとした雰囲気のなかでの開催となった。朝のうちにテレビ取材が入り、昼のニュースで放映していただいたため、午後はニュースを見て来たという近隣在住者が複数名いらっしゃった他、偶然通りすがった方、防災に関心のある方、公演近隣の店舗スタッフの参加もあった。複数の防災関連ブースを設置し、実際に体験が出来るブースもあったことはよかった。屋外だったためペット防災ブースには犬が数匹おり、会場を和ませていたのに加え、公園という立地上犬の散歩で通る人が多く、そういう方たちもペット防災エリアで足を止めている姿が見られた。また今回は那覇市防災危機管理課が共催として加わったため、那覇市の所有するダンボールベッドの展示や防災グッズの展示、担当者が直接参加者へ説明する、という機会がもてたことも有意義だった。近日中に今回の振り返り会を実施するため、そこでの反省点からプログラムのさらなるブラッシュアップをはかり次回の開催へつなげたい。

〔2〕　提案事業

第5回こども国際映画祭 in 沖縄（KIFFO）こども実行委員会

趣　旨：「多感な時期に映画を通じて世界を感じてほしい。世代や地域を超えた人間関係の世界を広げてほしい」との思いから開催される『こども国際映画祭 in 沖縄』に向けて、こどもたちに映画祭に向けて学びスタッフとしての基礎知識を体験・習得する。

期　間：平成３０年６月３０日、７月２２日、８月２６日、９月２３日、１０月２１日、１１月４日

場　所：若狭公民館ホール・第１研修室

対　象：９歳～１５歳の児童・生徒

受講料：無料

参加延べ人数：２０５人

プログラム

回	日時	実行委員会（回）	場所	内容	参加人数
1	６月３０日 １３時～１６時	第１回こども実行委員会	若狭公民館 ホール	今年度 KIFFO について説明会 映画祭役割紹介	５５名
2	７月２２日 ９時半～１２時半	第２回こども実行委員会	若狭公民館 第１研修室	映画祭の役割・チーム決め 各チームのアイディア出し	４５名
3	８月２６日 ９時半～１２時半	第３回こども実行委員会	若狭公民館 ホール	横断幕作成 各チーム活動計画書作成・経過発表 琉銀 GoodNews　CM 撮影	３７名
4	９月２３日 １３時～１６時	第４回こども実行委員会	若狭公民館 第１研修室	各チームでの活動・成果発表 記者会見の練習	３４名
5	１０月２１日 １２時～１５時	第５回こども実行委員会	若狭公民館 第１研修会	各チームでの活動・動画撮影 オープニングセレモニーの流れ確認	３４名
6	１１月４日 １２時～１５時	第６回こども実行委員会	若狭公民館 ホール	本祭リハーサル	４０名

（まとめ）

全６回のこども実行委員会を通し、映画祭の仕組みを知り、参加者同士でコミュニケーションをとりながらイベントを作り上げる楽しさを感じることができた。映画祭を運営するにはどういった役割があるのか話し合い、それぞれの役割ごとでグループに分かれて様々なアイディアを出しながら活動することができた。

また多くの大人ボランティアスタッフが、こども達のアイディアを形にするためにサポートすることができた。

移動式屋台型公民館を活用した住民主体の「つどう・まなぶ・むすぶ」

創造拠点創出事業

趣　旨：今日的な課題が顕著に表れている曙地区にて、施設公民館「パーラー公民館（移動式屋台型公民館）」の活動を展開する。公民館の本来の役割や機能を地域で展開するにあたり、地域団体市民・NPO 団体、アーティスト、公民館等社会課題に対して活動する様々な専門機関と連携しながら取り組みを行う。実施する取り組みは、経験豊富な全国のアート NPO と協働し、創造的でユニークであり、かつ他公民館等でも汎用可能なモデル性の高いものとする。本事業により、地域の諸課題に対して住民自ら行動する機運を醸成し、地域活力を創出することを目指す。

期　間：平成３０年６月１３日～平成３１年２月２８日
　　通常開館　平成３０年６月～１２月まで月３回（全２１回）
　　その他イベント・ワークショップ（全１２回）

場　所：那覇市曙地区（あけぼの公園、曙小学校。その他）、若狭公民館ホール、くもじ・にじいろ館

対　象：那覇市在住・在勤・在学

受講料：無料

参加延べ人数：１５６０人（通常開館　８３５人、イベント・プログラム　７２５人）

支援：沖縄県、公益財団法人沖縄県文化振興会

プログラム

	日にち	イベント・ワークショップ	場所	人数
1	7 月 16 日	あけぼのの ZINE をつくろう	曙小学校	２８
2	8 月 9 日	発見！探検！みんなのまち	株式会社ナンポー	３６
3	9 月 16 日	ご近所映画クラブ	曙小学校	１３
4	9 月 27 日	「うみそら上映会 in あけぼの」プレ上映	曙小学校	２７
5	10 月 16 日	みんなの ZINE をつくろう	曙こども園	６７
6	10 月 19 日	あけぼの　ZINE をつくろう	Fish & Chips まるたま	6
7	10 月 26 日	うみそら上映会 in あけぼの	曙小学校	２００
8	10 月 30 日	ちょこっとハロウィン	あけぼの公園周辺	２００
9	12 月 22 日	あけぼの公園 かんしゃ祭	あけぼの公園	５０
10	12 月 26 日	みんなで“kangaeru”公民館のこと	くもじ・にじいろ館	４０
11	12 月 27 日	モヤモヤ読書会	若狭公民館第１研修室	１８
12	平成 31 年 2 月 3 日	パーラー公民館 大報告会	若狭公民館ホール	４０

（まとめ）

今年度は、「おでかけパーラー」や「ZINE をつくろう」ワークショップを開発し、地域の様々な活動を顕在化、つなぐ取り組みに注力した。活動に対する評価や期待は大きく、パーラー公民館の継続を望む地域住民の声は多い。補助事業終了後も継続していける体制づくりが今後の課題となる。

7　公民館まつり

第２７回 若狭公民館まつり

趣　旨：若狭公民館で活動している団体（サークル）の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与え、団体（サークル）相互の連携を深める。
期　間：平成３１年２月９日（土）、１０日（日）、１６日（土）
場　所：若狭公民館
参加延べ人数：２４９５人
主　催：若狭公民館利用団体連絡協議会
共　催：若狭公民館・図書館、ＮＰＯ法人地域サポートわかさ

プログラム

内　容	時　間	会　場	参加人員
オープニング	9日(土)9:30～	公民館前道路	35
バザー	9日(土)オープニング終了後	玄関前	300
親子で作るお菓子の家	9日(土)10：00～12：00	ホール	60
プレステージ 「ジュニアジャズ、歌と絵のお話会、うた三線」	9日(土)14:00～15:30	ホール	50
体験教室 「『小倉百人一首』かるた体験会」	9日(土)10：30～13：30	和室	20
健康講話「肥満と健康」	9日(土)15:30～16:30	ホール	15
展示発表	9日(土)10：00～17：00 10日(日)10：00～16：00	第１研修室 第２研修室	200
舞台発表	10日(日)12：00～16：00	ホール	1000
健康相談コーナー	10日(日)12：00～16：00	第２研修室	50
出店コーナー	9日(土)11：00～ 10日(日)11:00～	玄関前	230
喫茶コーナー	9日(土)10：00～17：00 10日(日)10：00～16：00	２階ロビー	320
社交ダンスパーティー	16日(土)18:30～21:00	ホール	100

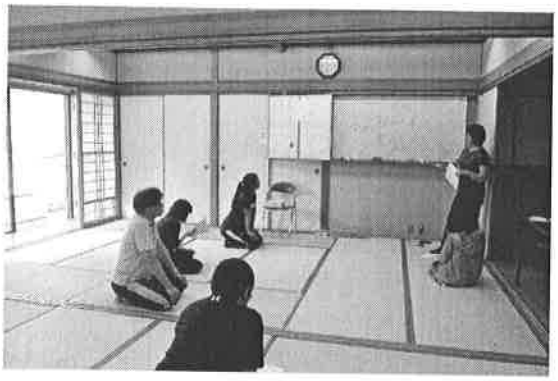
（まとめ）

第２７回若狭公民館まつりは、若狭公民館利用団体連絡協議会（５０団体）が中心となって、舞台発表、展示発表、体験教室、運営などを行った。今年は公民館外部の団体を招いて「プレステージ」や「健康講話」を開催するなど多様な催しでまつりを盛り上げることができた。その他コーナーでも利用団体はじめ、地域住民等の協力によりスムーズに運営することができた。多彩なプログラムにより華やかなまつりではあったが、利用団体会員の高齢化が年々進んでおり、幅広い層に利用してもらい活性化に繋げる必要がある。

公民館まつり風景

親子で作るお菓子の家

オープニング



体験教室「『小倉百人一首』」かるた体験会」

健康相談コーナー

展示発表

舞台発表

社交ダンスパーティー

プレステージ